

# 第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	大雪山マルハナバチ市民ネットワーク
活動タイトル	力を合わせて大雪山のお花畑を守りましょう！
活動地域	大雪山系(主に十勝岳山麓：白金地区)・近郊公園



4月23日学習講演会(オオイチモンジの累代飼育法)

## 【活動の目的・目標】

特定外来生物「セイヨウオオマルハナバチ」についてその生態と特性・環境に与えるダメージ等について、市民への浸透をはかりその防除を行っていききたい。今回の学習講演会並びにオオムラサキ館見学は「昆虫への興味関心」の喚起を目的に実施した。昆虫への理解がセイヨウオオマルハナバチ防除に繋がるよう希求する。



7月15日栗山町オオムラサキ館見学

## 【今回の活動で苦勞した/工夫したこと】

天候に左右されない室内活動（講演会・情報交換会）はともあれ、当会の殆どの活動が気候・天候に左右される屋外活動なので、その実施期日の選定が悩みの種となった。オオムラサキ館見学では館学芸員のススメで7月15日としたが、生憎の「雨」で見学目的の国蝶オオムラサキの飛翔を見る事ができなかった。



9月2日上富良野町日の出公園監視活動

## 【活動の内容・成果】

開催回数：45

参加人数：604（展示の参加者を含む）

達成率：70%

5月6日東川町羽衣公園・20日美瑛町北西の丘展望公園と9月2日上富良野町日の出公園のセイオオマルハナバチ監視活動（防除活動）は、北海道庁上川総合振興局の協力を得て予定通り実施できた。特に9月の上富良野「日の出公園秋の監視活動」については、はじめて地元上富良野町から参加があり、次年度における日常的な監視活動に期待を持つことができた。

6月9日上川町旭ヶ丘「森のGarden」モニタリング、26日豊富町サロベツ湿原モニタリングはレンタカーを利用して予定通り実施できた。

## 【団体概要】

在来マルハナバチの棲息を脅かしているセイヨウオオマルハナバチ。1991年に農家の省力化を目的にオランダ・ベルギーから輸入され、5年後にはその野生化が確認された。北海道内一円に蔓延しているが、大雪山系への侵入を阻止すべく、市民を巻き込んだ「防除活動」の推進に取り組んでいる。

## 第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



5月6日(土) セイヨウオオマルハナバチ春の監視活動（東川町羽衣公園）参加者22名。北海道庁上川総合振興局お協力を得て実施。捕獲活動後、捕獲成果確認を含めて「茶話会」を実施した。はじめて活動後にお菓子と温かいお茶を喫食しながら、「本日の成果」報告や質疑応答・意見交換会を行った。  
成果：女王蜂25頭(団2)、Worker2(団1)



6月22日(木) 美瑛町白金模範牧場（標高700m～750mの地点に位置）モニタリング 参加者7名。牧場内に三個の10m四方の「モニタリング箇所」を設定。これまでの3ヶ年のモニタリングの結果を踏まえて、『モニタリング方法』を確定した。毎年モニタリング方法には検討を加える予定。



6月26日(月) 豊富町サロベツ湿原モニタリング 参加者7名。エゾカンゾやアヤマメが咲く湿原を木道に沿って活動。今回も「セイヨウオオマルハナバチ」は未捕獲&未確認。  
※天気が良ければバックに『利尻富士』が見える。今日は残念！！



9月9日・10日(土・日) 旭川市科学館サイパル特別展示室で「みどりの回廊展（旭川自然共生ネットワーク主催：事務局 旭川市環境部環境総務課）」に、展示参加。  
今回は環境省北海道事務所に飼育許可を行い、特定外来生物「セイヨウオオマルハナバチ」の生態展示（6頭の働き蜂）を行った。  
入場者数 2日間 263名。